

消火の現場が、スプリネックスの威力を実証する。

作動のスピード、消火後の素早い復旧が消火事例により証明されています。



平成6年3月、北海道A病院の病棟廊下に放置してあった車椅子の毛布から出火、火は一瞬のうちに天井近くまで達したが、すぐに感知器が作動し、スプリネックス本体が作動、瞬時に消火しました。原因はタバコの不始末、被害は車椅子1台と壁及び廊下が多少濡れた程度で、あと数分消火が遅れたら壁から天井へと延焼し、煙の充満で大混乱となるどころでした。当日、入院患者さんも動揺することなく、業務も支障なく平常通り行われました。

●病院関係者の話
一瞬のうちに消火したのは驚いた。周囲に延焼する前に消し止めたこと、薬剤の後始末にウエスやモップで拭き取る程度で後かたづけにも時間が掛からず、業務に支障なかった。大事に至らず本当に良かった。

平成8年9月、千葉県B病院事務所内のカルテ整理棚から出火、当日は病院が休みで火災報知器に気がついた当直の医院長が駆けつけたときには、既にスプリネックスが作動し、火は完全に鎮火していました。原因は放火によるものとみられていますが、感知が早く、素早く消火したため損害はカルテ整理棚及びカルテの一部焼失とコンピューターに薬剤がかかっただけで軽微ですみました。又、水損も少なく後始末も簡単に済み翌朝からの業務も平常通り行われました。

●病院関係者の話
病院はカルテが財産で、これを失うことは病院が倒産するに等しく、もしスプリンクラーを設置していたら、焼失を免れたとしても水損で甚大な被害を被ったことが想像でき、スプリネックスを設置したことは正解であったと思う。

昭和63年に設置開始以降、平成6年から現在に到るまでに19件の出火に依る作動事例が報告されていますが、全てに於いて消火を致しております。早期に消火する事により人的被害はゼロです。建物に対する損傷も軽微にとどまっております。

ますます多用途に展開が拡大。

右記のような設置実績を誇る「スプリネックス」は、スプリンクラー設備を設置しなければならぬ防火対象物に対し「総務省令第92号及び消防庁告示13号」を適用して設置するケースがさらに増加。これまで設置実績は、社会福祉施設、旅館、ホテル、ペンションから、スーパー、各種学校、研修所、図書館、飲食店、多用途テナントビル、さらに神社や文化財まで幅広く、今後はさらに多用途の展開が見込めます。

スプリネックス設置実績

設置年月	病院	社会福祉施設	ストアー	共同住宅	一般	合計
H29.3.迄	917	1,183	115	902	161	3,278件



未警戒部分用の消火設備 スーパーボックス

パッケージ型消火設備I型 SBW80II型 第三種浸潤剤等入り80L

●補助散水栓設備の代わりにも威力を発揮!
性能規定の導入による告示化により、パッケージ型自動消火設備I型「スプリネックス」を設置する防火対象のなかに、補助散水栓設備に代わる設備としてパッケージ型消火設備の設置が認められました。

●屋内消火栓設備の代わりにも使用可能!
右表の通り、新たに屋内消火栓設備に代わる設備としてパッケージ型消火設備の設置が認められました。

パッケージ型消火設備I型の設置基準

		SBW80II
防火対象物	耐火建築物	6階以下で延べ面積3,000㎡以下
	耐火建築物以外	3階以下で延べ面積2,000㎡以下
設置方法	水平距離	20m以下
	防護面積(階ごと)	850㎡以下
ホース長さ		25.5m

標準小売価格 ※補助散水栓設備の代替として使用する場合は別途

- 標準型 露出型650,000円(税抜)
- 埋込型680,000円(税抜)
- ※上記価格にはいずれも取付・工事費は含まれていません。

認定合格品(PG-029号)

※掲載商品は予告なく仕様、その他を変更する場合がありますので、ご了承ください。

人と地球のいのちを守る



本社：〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル8階
http://www.moritamiyata.com

お問い合わせは、お客様相談室へ

☎ 0467-85-1210 [受付時間] 9:00~12:00/13:00~17:00 (土・日・祝祭日は休み)

ご用命は



パッケージ型自動消火設備I型
FSSM500IV型認定合格品(認定番号PGA-006号)

スプリネックス SPRINEX



消火システムの新しい基準。

消防法への性能規定の導入により、
パッケージ型自動消火設備が告示化され、
その消火力と安全性への注目度がますます高まっています!

モリタ宮田工業 株式会社

コンパクトで無害の消火薬剤がもたらす 安全で効率的な消火の可能性

スプリンクラー設備と同等以上の防火安全性能を、建物や人に負担をかけずに実現。
薬剤をコンパクトにパッケージしたシステムだから、導入しやすくメンテナンスが簡単。
万一の際も被害の拡大を防ぐ、新たな消火システムの誕生です。

スプリネックスの3つの特長

だからスプリネックス 1 放射による二次災害が少なく安心。

大量の水を使うのではなく、わずか216リットルの少量で無害の消火薬剤を使用するので、放射により室内が水びたしになる二次災害の心配が少なく安心です。

だからスプリネックス 2 消火用貯水槽がいない省スペース。

大規模な消火用貯水槽を設置する必要がなく、配管径も34mmとスリム。
施設の状況に左右されない省スペースを実現します。

だからスプリネックス 3 設置工事・維持管理が手間なく簡単。

天井全体を撤去するなど大掛かりな設置工事の必要がなく、天井点検口があれば1部屋約2時間で設置可能。
維持管理も基本的にはワンタッチです。



スプリンクラー設備と同等以上の 防火安全性能を生む、高性能消火ユニット。

スプリンクラー設備が必要とされる施設において、スプリンクラー設備と
比べた防火安全性能が、同等以上の効果を発揮する「スプリネックス」。
新たな発想の消火ユニットにより生まれた高性能のパッケージ型自動消火設備です。

スプリネックスとスプリンクラー設備の特徴の比較

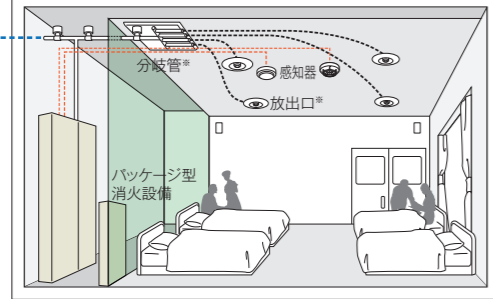
数々のデータが「スプリネックス」の高性能を実証。その消火性能はもちろん、信頼性・安全性などあらゆる面で
スプリンクラー設備を超えています。365日24時間、初期消火をより安全に行う高機能パッケージが、
万一の際に皆さまを守ります。

● 構造とシステムの主な比較

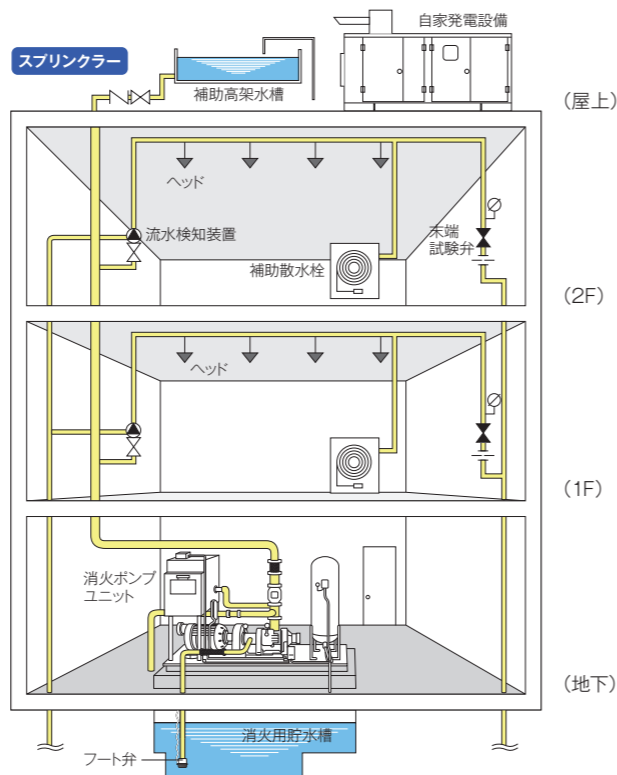
スプリネックス

スプリネックスの設置場所

- 階毎に設置する必要はありません。
- 設置スペースが狭い場合や対象範囲が広い場合は、設置可能階の中または、屋上などに分散させて設置することも可能です。
- 警戒範囲は、本体設置階から直上階までで、下階は制限がありません。



※1区画に設置できる分岐管、放出口は4個型と9個型の2種類あります。設置条件に合わせてお選びください。詳しくは担当者にご相談ください。



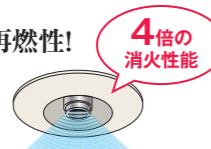
消火性能の高さ

スプリネックス

水の4倍の消火性能で、優れた非再燃性!

※第三種浸潤剤等入り水使用。

消火剤は、鑑定基準に適合し消火性能は水の4倍。冷却効果・浸透性・再燃防止効果にも優れ、スプリンクラーに代わる同等以上の消火性能を条件とする厳しい鑑定試験に合格しています。



スプリンクラー

大量の水で消火。

大量の水槽の水(12.8㎡以上/高感度型ヘッドの場合)を長時間放出して消火。火災通報により消防車が火災現場に到着する時間が約15分とされているため、その間、放射を続け延焼拡大を防げるよう放射時間が20分以上に設定されています。

消火剤の安全性

スプリネックス

消火剤はPH6.5の中性で刺激が極めて少なく安心!

(一財)日本食品分析センターにより、消火剤が皮膚にかかったり目に入っても刺激や影響が極めて少ないと判定を受けています。消火剤の経年変化も極めて安定しています。



スプリンクラー

消火は水で行うため無害。

ただし配管内での経年変化により赤サビや腐敗が生じます。

感知スピードの速さ

スプリネックス

感知・消火のスピードが速い!

自動火災報知設備用感知器の使用で火災の感知スピードが速く、火災場所で1系統の放出口が一齐に消火剤を放射。初期火災の間に消火を行います。

感知
スピードが
早い



スプリンクラー

一般的な建物火災用の大火災消火システム。

加熱すると開放・放水する感熱分解機構を備えた閉鎖型ヘッドのため、常時止水。感熱部分を分解するのに時間がかかるため放水開始が遅い。

設置条件の柔軟性

スプリネックス

地震に強く、凍結の心配がない!

消火剤は本体に貯蔵され配管部分は常に空の状態なので、腐食や地震による液漏れ・凍結の心配がありません。

凍結の
心配がない



スプリンクラー

寒冷地においては凍結防止装置が必要で、地震時の不安も解消できません。



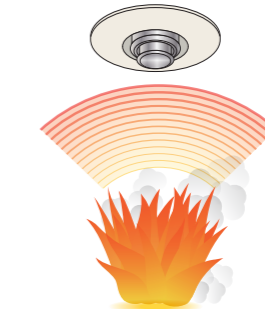
作動の信頼性・正確性

スプリネックス

誤放射の発生率は低い!

感知方式の異なる2つの感知器両方が火災を感知して初めて本体が作動するシステムなので、誤放射の発生率が極めて低くなります。感知器の一方が感知した際にはブザー、移報信号で火災発生を知らせます。

2種類の
感知器



スプリンクラー

誤放射の発生率は低い。

ヘッドの感熱部分を火災の熱が溶かすまで時間がかかり、火災感知の鈍さがある一方、誤放射の発生率は低い。

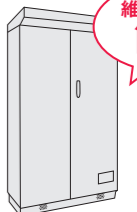
維持管理の簡単さ

スプリネックス

維持管理が非常に簡単!

システムの維持管理はボタン操作でも可能ですが、感知器の維持管理が必要。また、消火剤そのものは劣化しませんが通常の点検は必要です。※年2回の法定点検は、スプリンクラー同様必要です。

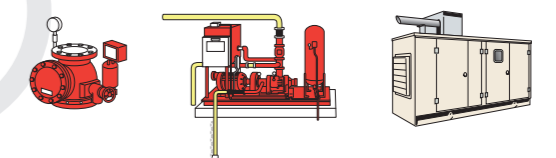
維持管理が
簡単



スプリンクラー

多種多様にわたる維持管理。

消火システムが違いますので、感知器の維持管理はありませんが、水槽・給排水・ポンプユニット・自家発電設備など多種多様な点検が必要です。



スプリンクラーと比べ同等以上の防火安全性能が発揮される範囲

● 適用される防火対象物(消防法施行令別表第一、五項、六項)

スプリンクラー設備の設置を必要とする旅館、ホテル、宿泊所、寄宿舎、下宿、共同住宅、病院、診療所、助産所、社会福祉施設、幼稚園、盲聾学校、養護学校など

● 延べ面積

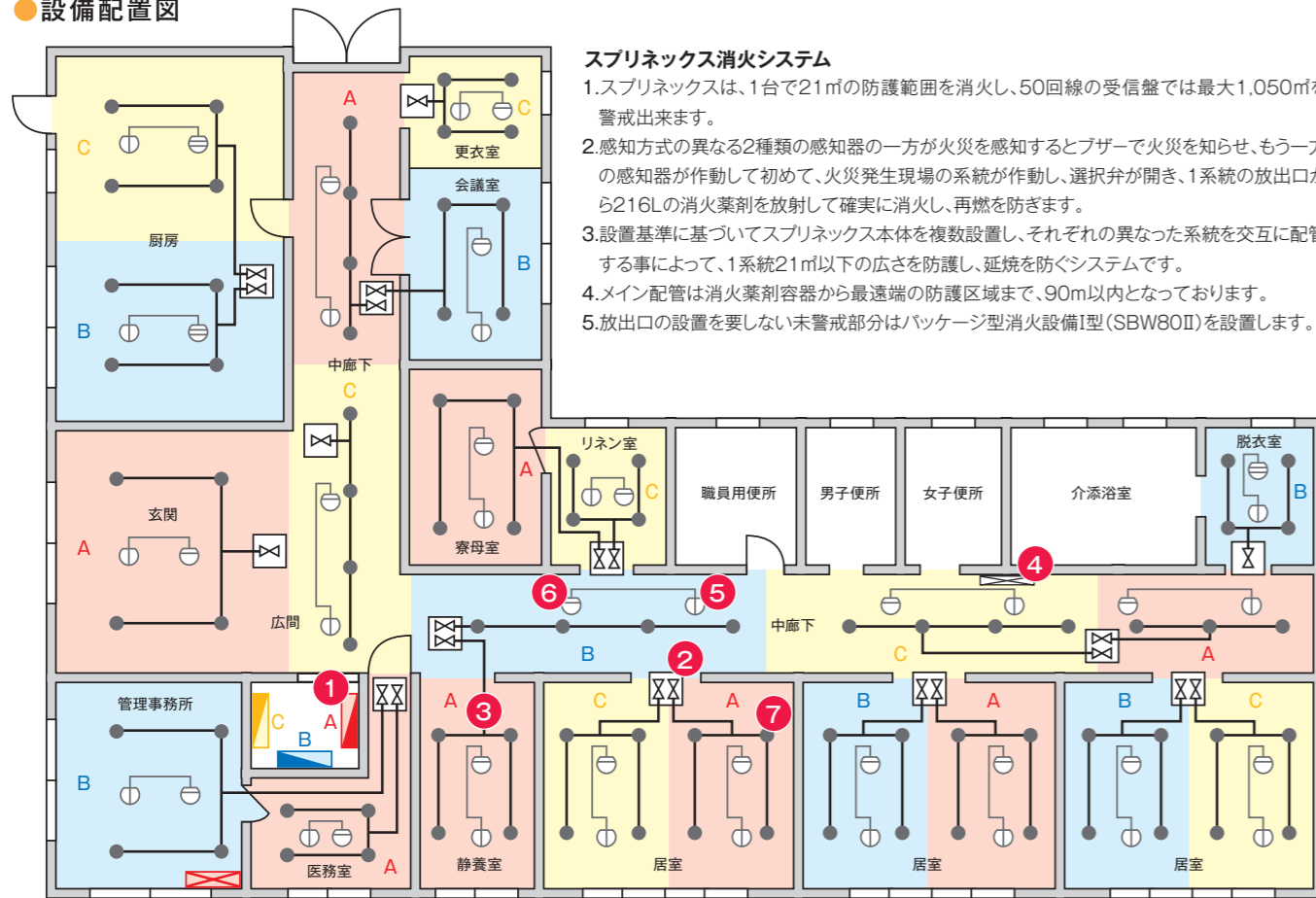
10,000平方メートルまで認められています。

● 建物は新築・増改築・既設を問いません。

(平成16年5月31日付け 総務省令第92号及び消防庁告示第13号)

ご覧の事例は、設置基準にもとづいて「スプリネックス」本体3台を設置したもので、部屋の広さに応じ3台の異なるシステムを交互に配管し、その防護区域を各色で示しています。この配置により1系統の防護範囲21㎡以下の区域の確実な消火と延焼防止を実現します。

●設備配置図



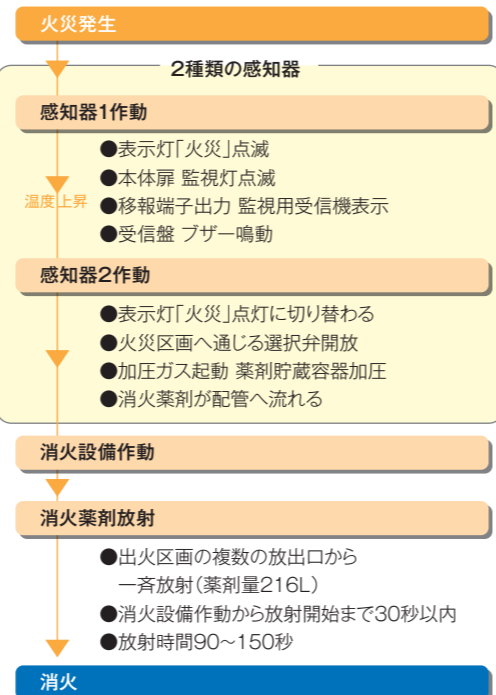
スプリネックス消火システム

- 1.スプリネックスは、1台で21㎡の防護範囲を消火し、50回線の受信盤では最大1,050㎡を警戒出来ます。
- 2.感知方式の異なる2種類の感知器の一方が火災を感知するとブザーで火災を知らせ、もう一方の感知器が作動して初めて、火災発生現場の系統が作動し、選択弁が開き、1系統の放出口から216Lの消火薬剤を放射して確実に消火し、再燃を防ぎます。
- 3.設置基準に基づいてスプリネックス本体を複数設置し、それぞれの異なる系統を交互に配管する事によって、1系統21㎡以下の広さを防護し、延焼を防ぐシステムです。
- 4.メイン配管は消火薬剤容器から最遠端の防護区域まで、90m以内となっております。
- 5.放出口の設置を要しない未警戒部分はパッケージ型消火設備1型(SBW80II)を設置します。

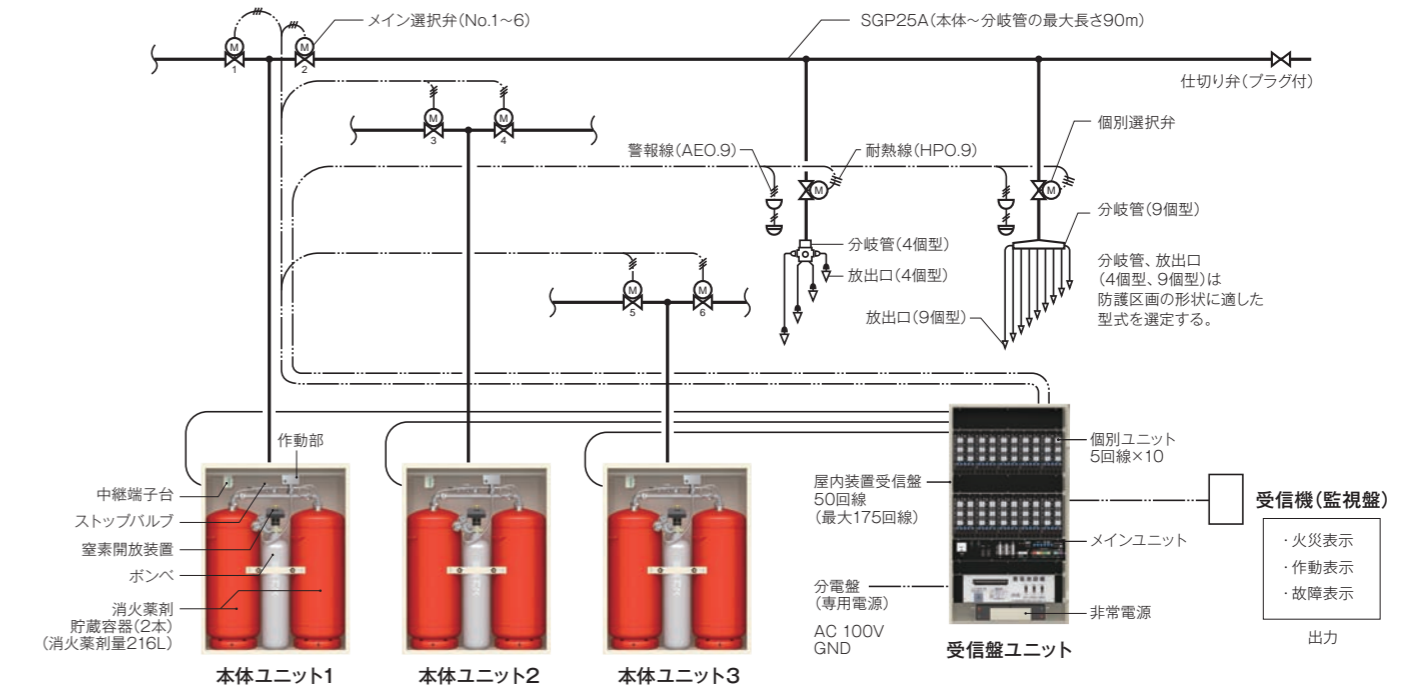
● 本体ユニットA ● 本体ユニットB ● 本体ユニットC ● 受信盤※FSSM500IV型受信盤別置型は受信盤を本体と離れた場所に設置可 ● 放出口
 ① 定温式スポット型感知器(防水型) ② 差動式スポット型感知器 ③ 定温式(補償率方式)スポット型感知器 ④ 選択弁設置位置 ⑤ パッケージ型消火設備



●スプリネックスの作動フロー図



●FSSM500IV型受信盤別置型

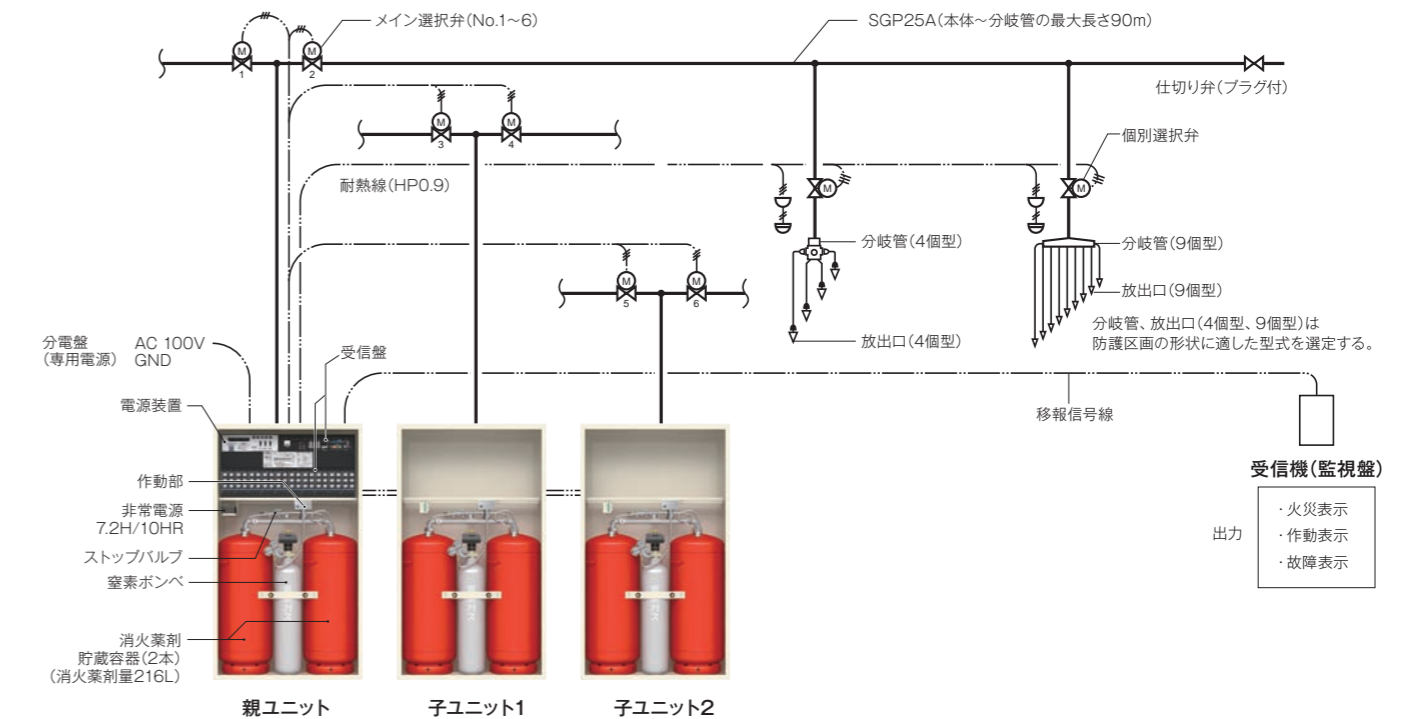


- 受信盤は50回線、125回線、175回線の3種類があります。
- 受信盤1台で本体を3台まで制御できます。
- 受信盤は屋内仕様ですが薬剤容器内蔵本体は屋外仕様も有ります。
- 175区画を超える場合は受信盤を2台以上設置する事で対応出来ます。
- 本体高さが低いので階段下等に設置し易くなりました。

FSSM500IV型受信盤別置型	幅 mm	奥行 mm	高さ mm	総質量(架台)kg	
受信盤	50回線	550	211	960	51
	125回線	550	211	1,800	85(3.5)
	175回線	1,065	211	1,436	115(6)
本体	屋内型	1,050	450	1,350	480
	屋外型	1,087	560	1,454	540

※50回線の架台(14kg)はオプション

●FSSM500IV型受信盤一体型



- 本体には親機と子機(受信盤無し)の2種類有ります。
- 親機と子機それぞれに屋内型と屋外型有ります。
- 本体親機には最大50回線の受信盤と薬剤貯蔵容器が内蔵されています。
- 本体子機には薬剤貯蔵容器が内蔵されています。
- 親機1台で子機を2台まで制御できます。
- 大型物件には親機を複数台使用します。

FSSM500IV型受信盤一体型	幅 mm	奥行 mm	高さ mm	総質量 kg	
親機	屋内型	1,050	450	1,800	540
	屋外型	1,087	560	1,910	610
子機	屋内型	1,050	450	1,800	510
	屋外型	1,087	560	1,910	580